

児童発達支援センターに求められる中核機能の取り組み状況について、今年度は下記のとおり実施いたしました。

項目	実施状況
市町村及び地域の関係機関との連携体制を確保しているか。	<p>田川市郡自立支援協議会・こども支援部会に毎月参加。相談支援部会との意見交換会にも参加した。</p> <p>また、バリアフリーデー（プール開放日）にはボランティアスタッフとして参加した。</p> <p>自立支援協議会が主催する福祉セミナーにも参加した。</p> <p>地域の小学校にて、「障害児支援・虐待防止」をテーマに教員向け研修会を実施した。</p>
幅広い発達段階及び多様な障害特性に応じた専門的な発達支援及び家族支援を提供する体制を確保しているか。	<p>ST・OTによる個別療育（月1回）実施し、ペアレントトレーニングを行うなど発達支援・家族支援を実施した。</p> <p>また、専門職による集団療育（月2～6回）にも取り組み、発達支援を実施した。</p> <p>保護者勉強会（年2回）を開催し、発達支援・家族支援を実施した。</p> <p>昨年度卒園した保護者を対象に茶話会を開催。保護者の交流の場を提供することができた。</p> <p>その他必要に応じて、都度面談を行い家族支援を実施した。</p>
地域の障害児通所支援事業所との連携体制を確保しているか。	<p>サービスの質の向上を目的に、行政、田川市郡の児童発達支援センターと協同して、通所事業所の話し合う場を4回開催した。外部講師による研修会を行い、その後研修を基にグループワークを展開し、応用行動分析を活用した利用者の特性理解や支援方法の検討などを行った。</p> <p>また、11月にはきらり直方と合同で事業所向けの研修会を実施。43名の参加があった。</p>
インクルージョンの推進体制を確保しているか。	<p>保育所、幼稚園や小学校へ19件訪問し、情報共有を行うことで連携を図ることができた。また、今年度は5名の児童の保育所・幼稚園への併用日数を増やすことができた。</p>
入口としての相談機能を果たす体制を確保しているか。	<p>同法人の相談事業所くれそん・すみれとは常に連携できる体制を確保している。</p>

その他、職員研修として、法人内研修、スキルアップ研修、園内研修、虐待防止研修を実施。外部研修にも随時参加した。

保護者・職員による事業所評価についてはHPにも掲載します。

令和8年度は、行政との連携を深めながら、地域のニーズに合わせた支援が提供できることを目指していきます。

また、保育所・幼稚園などの関係機関との情報共有を実施しながら、インクルージョンの推進を図っていききたいと思います。